

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぼるて		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 23日 ～ 令和 8年 1月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日 ～ 令和 7年 12月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・買い物体験や公共の場での過ごし方等、社会体験を重視した活動を多く取り入れており、日常生活や将来を見据えた、実践的な経験をすることができます。	・買い物体験や公共施設の利用など、実生活に近い場면을意識的に設定し、事前にルールや流れを確認した上で活動に取り組んでいます。活動後には振り返りを行い、「できたこと」や「気づいたこと」を言葉にする機会を設けています。	・社会体験の内容を整理し、同じ体験を段階的に繰り返す機会を設けることで、定着や成長を確認できる仕組みづくりを進めていくこと。
2	・日々の活動を固定せず、子ども一人ひとりの興味や関心に応じて参加がしやすい環境作りを行っています。また、子ども同士の集団の力に目を向けており、「やってみよう」「参加してみよう」という機会が生まれやすくなっています。	・日々の活動を固定せず、子どもの興味やその日の様子に応じて柔軟に活動内容を選択しています。無理に参加を促すのではなく、見学や部分参加等、子ども自身が選べる関わり方を大切にしています。	・活動内容と支援のねらいを整理し、同じ活動になった時には変化や成長を評価できる視点を取り入れていくこと。
3	・職員体制が安定しており、継続して同じ職員が関わることで、子どもの変化や成長を丁寧に見守ることができています。保護者や子どもにも安心して利用してもらっています。	・職員間で日々の気づきや子供の様子を共有し、継続して同じ職員が関わることで、個々の変化や成長を丁寧に見守っています。	・共通理解を深めながら、新しい視点も取り入れられるよう、定期的な振り返りの機会や研修を設けること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動内容が多様である一方、同じ活動を継続して行い、成長や変化を評価、振り返る仕組みが十分には整っていません。	・活動内容を柔軟に設定し、多様な経験を重視している為、同じ活動を継続して実施する機会が少なくなり、評価や振り返りを体制的に行う仕組みが整っていません。	・活動ごとに簡単な評価項目を設定し、短時間で記録・共有できる振り返りの仕組みを取り入れること。
2	・日々の支援や活動の意図について、保護者に対して分かりやすく伝えきれていない場合があります。	・支援の経過は文章で記録し、保護者と共有しているが、文章中心の伝達では、活動の様子を十分に伝えきれない場合があります。また、送迎時に口頭での説明を行っているものの、限られた時間の中では理解が難しい場合もあります。	・文章による記録に加え、写真等の視覚的な情報を活用し、活動の様子がより具体的に伝わる工夫を行う。併せてICTシステムの活用も検討し、保護者との情報共有の充実を図ること。
3	・時間帯や送迎体制の制約から、中学生の利用ニーズに十分対応できていない点が課題となっています。	・中学校の下校時間と事業所の運営時間、送迎体制との調整が難しく、現在の人員配置や運営体制では中学生の利用に十分な対応ができていません。	・中学生の下校時間や利用ニーズを整理した上で、無理のない範囲で受け入れ体制の改善を検討していくこと。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ぼるて

公表日 令和 8 年 1 月 19 日

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	93%	0%	0%	7%		・ 法令に基づき、利用人数や子どもの特性に応じた職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93%	0%	0%	7%		・ 子どもが安心して過ごせるよう、わかりやすく清潔な環境づくりに努めています。今後も必要に応じて環境の見直しや工夫を行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ わかりやすく、過ごしやすい空間です。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ 丁寧に見てくれるので、相談もしやすいです。	・ 子ども一人ひとりの特性を把握し、状況に応じた支援を行っています。今後も職員間で情報共有を行いより適切な支援に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ 詳細に聞いてくれるので、一緒に課題に向き合ってくれる安心感があります。	
	8	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	0%	0%	7%		・ 個別支援計画は関係法令及び、ガイドラインに基づき作成しています。作成にあたっては、子どもの特性や意向、保護者の意向を踏まえ、支援内容や目的が分かりやすく設定を行いたいと思います。
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ 様々なイベントがあり、子どもも楽しく通所ができています。	・ 活動が固定化しないように、当日の子どもの特性や発達に合わせて考えるようにしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	66%	7%	7%	20%		・ 児童クラブを利用している子どもがいる際は、情報共有を行っています。一緒に活動する機会は持ていません。今後の課題として検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ 毎回伝達してくれるので理解できていると思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・ 寄り添った支援をしてくれるので、とても助かっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	80%	7%	0%	13%		・ 2か月に1度、事業所を開放して自由に交流する機会を設けております。ご家族で遊びに来ていただければ嬉しいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	・すぐに対応してくれるので安心です。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・プライバシーに配慮し、適切にされている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・安心できます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73%	0%	0%	27%		・マニュアルに基づき、緊急時を想定した訓練や職員間での確認は実施しています。その内容について保護者への周知や説明が十分でない現状があります。今後は実施時や契約時に説明を行い、情報発信、周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	86%	0%	0%	14%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%	7%	0%	7%		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%	7%	0%	7%	・事故等が起った事がないのでわからないが、日頃から細やかな配慮がされています。 ・その都度連絡してくれるので安心です。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		・子どもが安心して過ごせる居場所となるよう、日々の関わりや環境づくりを大切にしています。また、通所を前向きに感じられるよう、活動内容や支援方法に工夫を重ねています。今後も一人ひとりの成長や安心につながる支援を継続し、全体的な支援の質の向上に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	・満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ぼるて		令和 8年 1月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎日、朝礼と終礼を行い、全職員が発信する場を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・発信する機会を増やすとともに、自己発信しやすい環境づくりを目指してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・モニタリングや個別支援計画は職員間で必ず情報を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・月の予定は数人で意見を出し合い決定しています。当日の活動についても事前に話し合う機会を設けています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・曜日を固定しての利用でも、対応できるように、バランスを考え活動を決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・朝礼で当日の活動の流れや注意点を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼を行い、その日の内に気付いた点や良かった点を全職員が伝え合い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		・記録をとることに追われ過ぎてしまうと、子ども関わる時間が減ってしまうことが課題です。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・土曜日や長期休暇には、施設外へ出て社会体験の機会を多く設けています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校送迎時に担任と子どもの様子や日々の変化を情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		・主に保護者や相談支援員からの情報共有になっているので、就学前に通っている施設との連携に取り組んでまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		・連携をとっていく予定はありますが、現状は福祉サービスへの移行者は該当ありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・令和7年度より、児童発達支援センターと連携して研修を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・活動として、児童館を利用することは行っています。	・現在は放課後児童クラブや児童館との交流の機会は十分に設けられていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・放課後等デイサービス連絡協議会に参加して情報を共有するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		・個別対応はしていますが、研修の機会を設けることは今後の課題と考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・送迎時に話を聞いたり、改めて対応が必要な場合は日程調整を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・現在は実施できていません。今後は事業所の体制や状況を踏まえ、無理のない形で検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・服薬状況やてんかん発作、アレルギーに関しての一覧表を作り、情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・緊急連絡一覧表を作成しています。	・安全確保計画やマニュアルについては、家族への周知が課題です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	0	・該当者なし	